

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

1 総括についての評価

「運営に関する計画」の自己評価結果の総括について検証した。全体として概ね目標どおり達成できたと思う。この総括をもとに来年度の取組内容や指標を検討し、いっそう創意工夫ある教育活動を展開されることを期待し、自己評価を承認した。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現

施策1 安全で安心できる学校, 教育環境の実現

評価：A

全市共通目標(小・中学校)

- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

自己評価について承認する。今後も、いじめや暴力行為を許さない学校づくりに努めていただきたい。

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現

施策2 道徳性・社会性の育成

評価：A

全市共通目標(小・中学校)

- 平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を 80%以上にする。

学校の年度目標

- 平成 29 年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を平成 28 年度の全国学力・学習状況調査より向上させる。

自己評価について承認する。自尊感情の低さが積年の課題であったが、「自分にはよいところがある」と答えた児童が増加していることは、大きな成果である。あいさつについては、学校だけでなく、家庭や地域が一体となって取り組んでいく必要がある。

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現

施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援

評価：A

学校の年度目標

- 平成 29 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 85%以上にする。

自己評価について承認する。ホームページの更新回数や閲覧回数が目標を大きく上回っていることについては、大変な労力の賜物だと思うが、学校の透明性を高めるうえで、大切な取組である。いっそう利便性の高い設計や、ホームページ以外の情報発信の充実についても検討されたい。

<p>年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上</p> <p>施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組 評価：C</p>
<p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を, 前年度より向上させる。</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 6 割以下の児童を同一の母集団で比較し, いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 8 割以上の児童を同一の母集団で比較し, いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていますか」に対して, 肯定的に回答する児童の割合を, 前年度より増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査における無解答率を前年度より 1 ポイント減少させる。</p> <p>小学校学力経年調査の結果, 目標値に届かなかった学年があるということで, 自己評価が C となっている。しかし協議会としては, 読書環境の整備, 校内研究・研修の充実, 家庭学習の習慣化, I C T の活用などに着実に取り組んでこられた成果を鑑みると, 評価を上げてもいいのではないかと考える。今年度朝の学習や読書の時間を削って取り入れられた低学年からの英語活動についても, 今後, 成果を検証されたい。</p>
<p>年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上</p> <p>施策7 健康や体力を保持増進する力の育成 評価：B</p>
<p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力, 運動習慣調査において, 特に課題であるシャトルランと長座体前屈の平均の記録を, 前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成 29 年度末の校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし, 健康に気をつけている」の項目について, 「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を前年度より向上させる。</p> <p>自己評価について承認する。持久力や柔軟性を高めるための取組は, 今後も継続していただきたい。健康・体力を保持増進することについて, 児童自らが意識して実践できるよう, 今後も活動内容の充実に取り組んでいただきたい。</p>

3 今後の学校運営についての意見

<p>学校は子どもたちのためにさまざまな取組をされ, 成果を上げていただいている。しかし, 「運営に関する計画」に基づくこれらの取組や成果が, どれだけ多くの保護者に浸透しているかという点, ホームページ, 学校だより, 全体懇談会等, 周知の機会は設けられているものの, 心もとない部分があることは否めない。学校の取組への理解がいつそう深まることにより, 学校・家庭・地域の相互参画のもと, よりよい学校運営が展開されることにつながるものと考えている。</p> <p>「子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現」「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」のいずれの目標についても, 平成 3 2 年度末の中期目標達成に向けて来年度の取組内容や指標を検討し, いっそう創意工夫ある教育活動を展開していただきたい。</p>
--